

教職員の「子どもたちと向き合う時間」を確保するために

長岡京市教育委員会

平素より、本市の教育行政及び学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、子どもたちに効果的な教育活動を行うためには、教職員が健康で生き生きと働くことが大切です。

本市の学校においては、外部人材の活用やデジタル化による業務改善、学校行事の見直し、部活動の運営改善等による働き方改革を引き続き進めており、教職員の時間外勤務は改善傾向にありますが、依然として長時間勤務※1の教職員は少なくありません。※1:教職員の勤務時間は、平日（月～金）の午前8時30分～午後5時です。

そのため、教職員が子どもたちと向き合う時間をより一層確保し、教育の質の向上を図ることを目的として、令和8年3月に「長岡京市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画※2」を策定し、長時間勤務改善のための数値目標や負担軽減のための取組内容を定めました。

本市では、この計画に基づき、教職員が「働きやすさ」と「働きがい」を両立させるとともに、学校の役割や教職員の働き方を見直し、長時間勤務等を早急に改善することによって、子どもたちと向き合うための時間や、授業の質を高めるための授業準備の時間を十分に確保できるよう取り組んでまいります。

保護者・地域の皆様におかれましては、今まで以上に充実した教育活動を実現できますよう、学校における教育活動へのより一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



※2: 市業務量管理・健康確保措置実施計画

<https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000015863.html>

子どもたちにより良い教育を実現します！

- ◆ **教職生涯を通じて学び続ける教職員**に → 資質の向上 → **魅力的な教職員に！**
- ◆ **子どもたちと向き合う時間**の確保 → **子どもたち一人一人にきめ細かな指導・支援の充実！**
- ➡ 子どもたちが、**「包み込まれているという感覚」**を持ち、**「明日も学びに来たくなる学校に！」**

計画に基づく働き方改革の取組例

- ◆ **学校行事の精選・地域行事の参加など**
 - ・運動会や体育大会、発表会や文化祭などの学校行事は、その行事の趣旨を踏まえながら、必要に応じて廃止や統合、規模の縮小や時間の短縮を検討する一方で内容の充実など工夫して実施しています。
 - ・休日に開催される地域の行事などには教員が参加できないことがあります。
- ◆ **平日の電話対応や学校業務休止日の設定**
 - ・市内の小中学校では自動応答メッセージシステムを導入しており、平日の午後6時から翌朝8時までの時間帯と休日・学校業務休止日については電話がつながりません。（欠席連絡はスクリレをご利用いただけます。）なお、緊急対応を要する場合は、市役所・警察・消防などの関係機関へご連絡願います。
- ◆ **外部人材の活用や学校業務のデジタル化など**
 - ・登下校時や放課後の安全確保等については、引き続き保護者や地域の皆様のご協力をお願いします。
 - ・学習指導や部活動支援、資料作成や授業準備など、教職員の業務をサポートするため、学校業務支援員やボランティアの皆さんにご支援いただいています。
 - ・学校からの配付文書のペーパーレス化、欠席連絡や各種申請のデジタル化等の取組を進めています。

保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします